

西武新宿線野方・都立家政・鷺ノ宮駅周辺まちづくり構想（たたき台）
区民説明会の報告について

1 概要

西武新宿線野方・都立家政・鷺ノ宮駅周辺まちづくり構想（たたき台）について以下のとおり説明会を実施した。

【第 1 回】

- 開催日時 平成 19 年 8 月 21 日（火）午後 7 時から 8 時 30 分
- 開催場所 鷺宮地域センター 3 階洋室
- 出席人数 28 名

【第 2 回】

- 開催日時 平成 19 年 8 月 23 日（木）午後 7 時から 8 時 20 分
- 開催場所 野方地域センター 3 階ギャラリー
- 出席人数 24 名

2 説明内容

以下の内容について、パワーポイント及び配布資料により説明を行った。

- 西武新宿線連続立体交差化と沿線まちづくりについて（現状と課題、主な経緯等）
- 西武新宿線野方・都立家政・鷺ノ宮駅周辺まちづくり構想（たたき台）
（目的、整備課題、整備方針、構想図）

3 主な意見等

【第1回：鷺宮地域センター】

意見・質問	回答・見解
○連続立体交差化の構造形式について	・ 連続立体交差化事業は東京都が事業主体であり、構造形式は地下化・高架化のどちらになるか決まっていない。中野区は地下化を要望をしている。
○東京都主体の立体交差化事業や中杉通りの整備について、中野区も一緒にやってほしい	・ 都、区、西武の三者検討会等を通して、皆さんの活動や意見を、区として働きかけていきたい。
○都立家政の駅前広場について	・ 構想（たたき台）については方向性を示したものであり、今後さらに皆さんのご意見を伺いながら、まちづくり計画を具体化させて行きたい。
○中杉通りの整備時期について	・ 中杉通りは東京都の第三次の事業化路線になっている。今度とも都へ事業を早期着手するように要望していく。
○「みんなで考えよう鷺宮のまちづくり（地域ニュース）」と「たたき台」の関係について	・ 今回説明している「たたき台」は、区として、地元の駅周辺まちづくり勉強会での意見等を反映しながら作成したものであり、構想、基本計画、整備計画へと段階的に進めていきたい。

【第2回：野方地域センター】

意見・質問	回答・見解
○東京都が連続立体交差化事業の次期施工路線を選定する際には、地元の機運が影響するのではないか	・ まちづくりの機運に関しては、平成 16 年から地元勉強会が活動を行っている。その内容については東京都へ報告しており、評価を受けている。
○現在の東京都の動向について	・ 東京都は踏切対策基本方針における鉄道立体化の検討対象区間について、技術的な課題や事業の効果など、様々な視点から検討している。調査の結果を踏まえ、新規事業化を検討すると聞いている。
○たたき台に書いてある「整備が特に急がれる計画」の進み具合について	・ 駅前広場やアクセス道路の整備は立体交差化と併せてやることが重要だと考えている。駅前広場の大きさや位置については、具体的には決まっていない。
○早稲田大学との関りについて	・ 5 駅 4 地元勉強会で支援をいただいている。
○西武鉄道との関りについて	・ 都、区、西武の三者で中野区が事務局となった検討会を行っている。地元勉強会の活動報告や、構想（たたき台）について検討会で示している。連立事業を推進する意向と聞いている。
○駅周辺まちづくり構想図（たたき台）の範囲が名称のわりに対象地区が広すぎるのではないか	・ 連立事業を行うには駅前広場、幹線道路から駅へのアクセス道路、幹線道路、いずれの整備も必要であり、一つの区切りとして幹線道路で囲まれた部分を対象地区としている。
○野方駅北口の開設について	・ 平成 21 年度中を目途に駅舎の橋上化および南北自由通路の整備を進めており、秋頃には説明会を開催する予定である。